

会社名 EIZO株式会社

代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆

(コード番号 6737 東証第一部)

問い合わせ先 執行役員 総務部長 比良 浄敬

電話番号 076(275)4121

CO₂ 排出量実質ゼロの新物流棟建設のお知らせ

EIZO株式会社(本社:石川県白山市、代表取締役社長:実盛 祥隆)は、このたび本社敷地内に自社物流棟を建設することを決定しましたのでお知らせします。なお、竣工は2023年1月を予定しています。

1.背景

世界的な半導体不足や、コロナ禍の継続により、サプライチェーンの世界的な混乱が続いています。また、気候変動に起因する自然災害の増加により、資材調達上のリスクは年々高まっています。こうした背景を受け、当社は、従来の戦略的在庫政策を含むサプライチェーンへの取組みに加え、製品を安定供給できる経営基盤の更なる強化に向けて、本社敷地内に新物流棟を建設することとしました。

2.物流機能の向上

国内工場での生産に伴う材料および製品の保管に際しては、これまで自社の保管スペースに加え、複数の外部倉庫を活用してきました。このたびの新物流棟の建設により保管能力を向上させ、分散保管してきた材料および製品を自社内に集約することで、物流の合理化を推進し、更なる戦略的在庫政策の遂行や、生産リードタイムおよび物流関連コストの圧縮を見込みます。

3.環境配慮:CO₂ 排出削減

今回建設する新物流棟の屋上全面にPPAモデル※による太陽光発電設備を設置し、約39万kWh/年の発電能力を見込みます。これは一般的な火力発電中心の電力と比較して、年間約180トンのCO₂排出削減に相当します。この設備の導入による発電量は新物流棟での使用電力量を上回り、**新物流棟のCO₂ 排出量は実質ゼロ**となります。

また、新物流棟での保管能力向上により、工場・外部倉庫間における日々の材料・製品輸送ルートを簡素化します。これにより、**物流トラックからのCO₂ 排出量について年間約70トン削減**が可能となります。

当社のCO₂排出削減目標である「2030年度までにCO₂排出量70%削減(2017年度比)、2040年度までにCO₂排出量ゼロ」に向けて、今後もさまざまな施策を進めてまいります。

※PPAモデル:Power Purchase Agreement(電力販売契約)モデル

電力の需要側がPPA事業者に敷地や屋根などのスペースを提供し、PPA事業者が発電設備の無償設置と運用・保守を行う。

同時に、PPA事業者は発電した電力の自家消費量を検針・請求し、需要側はその電気料金を支払う。

4. 物流棟の概要(予定)

- (1)所在地 : 石川県白山市下柏野町153番地
- (2)建屋概要 : 延床面積 約 6,300 m² 鉄骨地上 2 階建
- (3)主な用途 : 倉庫
- (4)工期および稼働開始 : 着工 2022 年 5 月、竣工 2023 年 1 月、稼働開始 2023 年 2 月(いずれも予定)
- (5)投資金額 : 約 10 億円

5.完成予想図



新物流棟



本社全景

以上